（別紙4（2））

事業所名 グループホーム　アリエ

作成日：平成 22　年 10　月 30　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	夜間の地震想定・職員社宅からの出火想定など起こり得るあらゆる想定での災害対応訓練を勧めます。	ご利用者の安全を守る事を常に考え、色々な災害対応が、出来るようになる。（リスクマネジメント）	①現在、行っている年2回の避難訓練は火災のみだったが今後は地震も想定した訓練の実施を行う。　②地震の際のマニュアルを作成していく。	12ヶ月
2	5	全職員がグループホームにおける身体拘束禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解し介護の質の向上を図られるよう期待します。	全職員が身体拘束禁止について、人としての尊厳から学び・理解し業務に取組む。	①2ヶ月に1回は、テキスト勉強会と小テストを行う。　②毎週月曜日に身体拘束廃止に関する基本方針の唱和を行う。	12ヶ月
3	14	利用者が認知症であることの尊厳とプライバシーの確保をグループホームの内部研修で掘り下げて勉強し合い、全職員のスキルアップを望みます。	全職員が認知症の正しい理解と認知症ケアにおける実践が出来るようになる。プライバシーの念頭に置き、日々の暮らしの中でプライバシーも確保が実践できるようになる。	①認知症サポーターを中心に毎月、認知症と認知症ケアについて勉強会を行う。　②羞恥心に配慮した環境つくりに努める。　③次の認知症サポーターの養成に努める。	24ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。